

AIDS UPDATE

No.32 2002.6.13

広島大学医学部附属病院

エイズ医療対策室

内線2941（輸血部長室）

Internet: www.aids-chushi.or.jp

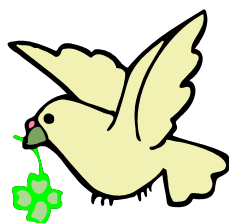
HIV感染症治療のスタンダードとは？ ～抗HIV治療ガイドライン2002年版～

HIV感染症が「死ぬ病気」から「治療できる慢性の病気」に変わって約5年が経過しました。この間の変化は、現場で実際に治療にあたっていたものにとっても目覚ましいものでした。2年前の医学教科書は古いと考え、治療の参考にしないで下さい。

HIV感染症の治療では、病気の理解、治療の利点と欠点、治療のタイミング、治療薬の選択、薬剤耐性、治療薬の副作用・合併症、経過のモニターなど多くの問題があります。厚労省の研究班(岡班)でこれらをまとめたのが、「抗HIV治療ガイドライン」です。こちらでも毎年書き変わっています。実際に治療をする前に、必ずエイズ医療対策室(内線：2941)にご相談下さい。

HIV感染者からのメッセージ ～AIDS Report No.56～

この小冊子は、エイズ予防財団の編集で作成しています。表紙はHIV感染者の長谷川博史さんです。長谷川さんは国内の感染者・患者が一緒になって、患者の視点から現状を切り開いて行こうとしています。



日本の最新のエイズ統計

http://api-net.jfap.or.jp/mhw/mhw_Frame.htm

「日本の最新のエイズ統計はどうなっていますか？」とよく尋ねられます。「ええ増えていますよ。」とは答えながら、正確な数字は覚えていません。エイズ予防情報ネットは厚労省の監修、エイズ予防財団が作成しているサイトです。公表文書やデータ類が、PDF版やエクセル形式で掲載されています。自由にダウンロードして二次利用できます。

世界のエイズ統計

<http://www.unaids.org/hivaidsinfo/index.html>

世界の統計は、国連合同エイズ計画(UNAIDS)です。ここには世界全体の統計資料や各国別の状況が文書あるいは表、さらにPPTのスライドショー形式で掲載されています。

中四国エイズセンターのHPから ～血友病診療の実際 2002年版～

<http://www.aids-chushi.or.jp> に毎月、役に立つ情報を掲載しています。血友病診療の実際は、広大オリジナルの原稿です。患者さんも読んでいます。PDF文書には「抗レトロウイルス療法の代謝性合併症：冠動脈疾患リスク」などの注目される文書が紹介されています。

< ご意見募集 >

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。

[TAKATA, OE]

takata@aid-chushi.or.jp